

第 15 回

浜松市芸術祭  
演劇部門

主催 ◇ 浜松市教育委員会

時 ◇ 昭和 44 年 11 月 16 日

所 ◇ 浜松市民会館



演劇とは？

## Program

- |              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| ●12:20~15:20 | NHK放送劇団・劇団からっかぜ<br>劇団だるま・国鉄浜松工場演劇部 |
|              | 合 同 公 演 「民衆の敵」                     |
| ●15:35~16:35 | サークル あし 「乞食の歌」                     |
| ●16:50~17:50 | カリギュラ '69 「カリギュラ」                  |
| ●18:05~18:55 | サークル11月会 「蚊座禅」                     |
| ●19:10~20:10 | 青年演劇愛好会 「青い鳥」                      |

# 民衆の敵（五幕）

ヘンリック・イプセン作

菅 原 順 訳

ホフスタッフ（民衆日報編集長） 山下 秀光（放送劇団）  
ピリング（民衆日報副編集長） 布施佑一郎（浜松工場）  
ホルステル（船長） 土師 健司（だるま）  
アスラクセン（印刷業・新聞投資家） 三井 康雄（放送劇団）  
ランジイネ（女中） 鈴木せつ子（〃）  
ペーテルセン（酔っぱらい） 太田 喜雄（浜松工場）

浜松放送劇団／劇団からっかぜ

劇団だるま／国鉄浜松工場演劇部

合同公演

## ▼スタッフ

製作 深沢	大助（からっかぜ）
演出 村越	一哲（放送劇団）
装置 大島	貞宣（からっかぜ）
河原 民史（〃）	河原 民史（〃）
前田 勝（〃）	前田 勝（〃）
照明 坂口	論（〃）
伊熊 広至（〃）	伊熊 広至（〃）
松本 直（浜松工場）	松本 直（浜松工場）

岩崎龍太郎（だるま） 山下 秀雄（放送劇団）

布施佑一郎（浜松工場） 坂本 薫（放送劇団）

加茂澄恵（〃） 小松時枝（〃）

別の町民 太田 喜雄（浜松工場）

群衆 劇団からっかぜ

国鉄浜松工場演劇部

劇団だるま

ペーテルセン（酔っぱらい）

岩崎龍太郎（だるま） 山下 秀光（放送劇団）

ホルステル（船長） 土師 健司（だるま）

アスラクセン（印刷業・新聞投資家） 三井 康雄（放送劇団）

ランジイネ（女中） 鈴木せつ子（〃）

ペーテルセン（酔っぱらい） 太田 喜雄（浜松工場）

池沼 和彦（だるま）  
衣裳 水村 春江（放送劇団）  
効果 坂口せつ子（からっかぜ）  
河原崎正志（〃）

村松 勇（放送劇団）  
舞台監督 中村昂平（放送劇団）

浜松放送劇団

## ▼キヤスト

トマス・ストックマン（温泉事務官）

岡本 和孝（放送劇団）

ストックマン夫人 斎藤 千春（〃）  
ペトラ（娘・女教師） 鈴木 利枝（〃）

エイリフ（息子） 鈴木多見子（〃）  
モルテン（息子） 石黒ひろ子（だるま）

ペーテル・ストックマン（町長その他） 牧野 照彦（浜松工場）

モルテン・キール（製革業・夫人の父） 古賀 昭隆（だるま）

## ▼物語

十九世紀の中頃、ノルウェー南部の海岸に温泉のおかげで栄えている町――この温泉に毒素が混じっていることを発見した医師ストックマンは、早速新聞に発表し兄である町長にバイブルの取替えを申し出る。

だが、この工事には莫大な費用を用することを知った町長は、新聞社を抱込み医師に迫害を加えようと企てる。医師ストックマンは、民衆に真実を訴えようとする。が、町の権力者の下にまるめこまれた民衆は「民衆の敵だ！」と彼を罵る。民衆の無智と多数決万能説弁的民主主義に押しまくられた。真理と真実を主張する彼は、真実とは、勇気とは何かを追求する。それは現実からの逃避ではなく貧しい子供に教育を与える。医者にかかれない病人を助けて行く生活こそが、一番強い生き方であり、本当の民衆の友になりうるのだと彼は民衆の罵声の中で知ったのである。

# 津上 忠作 乞食の歌

サークル あし

## ▼スタッフ

演出・舞台監督 鈴木和子

装置 宇津山敬

照明 鈴木康代

効果 山下能弘

衣裳 伊藤裕子

## ▼キャスト

重兵衛（おじい） 伊藤寿勇

音松（兄） 大石英二

三平（弟） 夏目峯彰

私たちの回りには、時代こそ違うが、これと似た様な状態がありはしないだろうか？

この劇を通じて、私達は、働いている私達自身の立場から、平和を願う心を訴えたいと考え、この劇を選びました。この劇に含まれた問題について共に考えて行きましょう！

## ▼ものがたり

時は桃山時代、ここは肥前の国平戸、平戸は九州の西北端にある島で、南蛮船や八幡船の基地として、秀

吉の指揮のもとに、朝鮮の戦に三千の兵を率いて加わり、六年間にもわたる長い戦のため、とりいれの七割という酷い年貢を取り立てた。その上、その戦に農民兵達までかり出したのである――

ふえ（音松の恋人） 野中ふき子

## ※サークルあしについて

私達の“あし”は劇団というには、まだあまりにも幼く、ちっぽけで、仲間もたつた一〇人しかいません。浜松市内に働いている、演劇の好きな仲間が誘い合って生まれました。

通常は週一回、水曜日が練習日ですが、残業などで全員が集まることはめったにありません。

そのため、一年に一作品を創り上げるのが精一杯ですし、演劇についての勉強も不足しています。これからも、少しずつ勉強して、先輩の劇団のようになりたいと夢だけは大きく持っています。

一生懸命にやりますので、よろしく御指導、御声援をお願いします。演劇に興味を持っている方は、一緒に勉強していきましょう！一同、首を長くして待っています。

## アルベール・カミュ作

# カリギュラ

カリギュラ '69

スとしての現実を含めての対象と主体との関係を、ある技法（演劇空間）によって、それ自体を主体化させようという働きであると考えられ、また技法は空間、時間音、色等の要素を最大限に生かすために、発展し拡大される。

演劇のもつ可能性は、その意味においても大きいものであるが、どのような知識の裏付による見識によつて「理解」を規定したのであらうか。

### ▼スタッフ

演出 太田静興

舞台監督 鈴木智久

舞台構成 小池いち子

牧田はま子

木下豈子

写真 鈴木智久

カリギュラ

カリギュラは、一九三八年アルジェで劇団なかまの

為に書き上げられた戯曲である。本来は、カミュ自身がカリギュラを演ろうとしていたのだが、戦争の為に放棄、一九四六年、パリのエベルト座で初演された。カミュの代表作の一つ。

## サークル「十一月会」

### ▼スタッフ

演出 村松美枝子

効果 浅井弥生

照明 藤田まち子

## 青江舜一郎作 蚊座禅

### カリギュラ

装置小道具 神田栄

製作 神田 栄

演出指導 天野雄介

謡舞指導 小沢信俊

### ▼キヤスト

シテ 神田 栄

蚊 藤田まち子

師家 浅井弥生

医者 村松美枝子

### ▼内容

座禅の勉強に山寺に来た男、座禅がブームに乗った事を頼みのつなに一切とも動かぬ人間を求めてやって来た腹ペコの蚊 バッタリ! 出合ったこの二人(一人と一びき)

去年「七〇年安保に關わる小手稿」という劇で、芸術祭に参加しようとしたが、「観客に理解できない」という理由で参加ができなかつた。これでは観客を、ある特定のレベルとして計つてゐることになる。しかし、もの(劇)を創ることは、流動化し、カオ

これまで比較的愛されてゐた皇帝カリギュラは、妹であり恋人であるドリュジラの死を契機としてありのままのこの世界は満足すべきものではないと気がつく。それ以来不可能にとりつかれ、悔蔑と嫌惡に毒された彼は、殺人と、すべての価値を規則的に廢敗させることによつて自由を發揮しようと試みる。

彼の真実が宿命に反抗することであるにしろ彼の誤謬は人間を否定したことである。自己に真実なあまり人間に對して不忠実であつたカリギュラは、いかなる存在も自分ひとりでは救われないし、他人に反抗しつづけて自由ではありえない、ということを理解したために死に同意するのである。

### ▼

去年「七〇年安保に關わる小手稿」という劇で、芸術祭に参加しようとしたが、「観客に理解できない」という理由で参加ができなかつた。これでは観客を、ある特定のレベルとして計つてゐることになる。しかし、もの(劇)を創ることは、流動化し、カオ

吸われまい、絶対吸わなければならぬと、あれやこれやの作戦、ハテサテ、どんなふうにくりひろげられるのでしよう……。

※恩師よりの御指導、良き友、仲間達の御協力、深く感謝致します。

阿坂卯一郎作

## 青い鳥

『口上』

落葉にうもれた死美人が、ビートルズの「アビーロード」を口づさんだ。

自分の墓穴は自分で掘れ！

ドラキュラの歌は青年の晩歌だ！

レボリューションを聴きながら涙を流した。ゲバラを求めて、少年はゆく。そして彼は永遠につまずくのだ。女々しい男になりさがつた時、彼はがんじがらめの状況を知るのです。

青葉はアクションの中によみがえる！

フェチズムの極致をさまよう白面美少女の群！

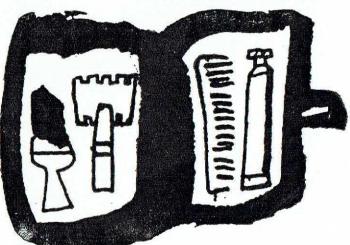
快樂を暴力に!! 快樂を暴力に!!

ランボウの屍を乗り越えて、砂漠をさすらう男一匹  
軽薄を追求しつづける青愛の人々。

\*主記

「『薔薇色の黎明』」が、三日月の夜の群青色に、変身しようとしている」ツアラツトラスはかく語りき。

▼スタッフ  
製作 金本一夫  
舞台監督 三波恵子  
演出 本多国和  
装置 ルナート  
鈴木重種  
福田浩司  
照明 寺田 篓  
さすらい人 漂泊のイエス



美少年I (ドラキュラ) 黒衣聖子  
美少年II 寺山兜兒

聖姫女 ローザ 藤

青年合唱隊その一 増田君

そのII 矢野君

その他 女学生ゲリラ及び青愛の人々

青い鳥を求めて、チルチルミチルは風車にのって街を過ぎ去った。凍風がふきすぎ町を、絶世の美少年が行く。

生とは何か、死とは何か、愛とは何か、家とは何か、血とは何か、権力とは何か、はてさて正義とは何か、暴力とは何か、幸せとは何か、あらゆる意識は矛盾と知りながら自問しもだえる彼

「血は血を呼び、雨は真紅の虹を呼び、あらゆる絆を断つ時がやつてくるのだ。」

彼は叫んだ！

殺すぞ！

だれかれとなく まずお前を！

何んの為に？

何んの為だつて？  
今夜の月の為にさ

『キザ演劇まかり通る』

---

## 観劇アンケート

---

浜松市芸術祭（演劇部門）は皆様の御支援により今年で15回を数えるようになりました。今後、より発展させるための参考とするためアンケートに御協力をお願いいたします。

（○印に穴をあけて下さい）

あなたの年令  15才～18才  18才～20才  20才～25才  
 25才～30才  30才～40才  40才以上

職業  会社員  公務員  商業  
 工員  学生  その他

芸術祭演劇部門を何回御覧になりましたか

初めて  2回～5回  5回～10回  
 10回以上

今日はどの演劇を御覧になりましたか

「民衆の敵」  「乞食の歌」  
 「カリギュラ」  「蚊座禪」  
 「青い鳥」

御覧の演劇の感想をお願いします

---

---

---

芸術祭演劇部門の運営等について感想をお願いします

---

---

---